

2009年度 日本文化人類学会  
第1回 理事会 議事録

日時：4月26日（月）14:00～18:00

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、春日、岸上、葛野、窪田、栗田、桑山、佐々木、須藤、  
関根、名和、和崎

委任状提出：鏡味、坂井、鷹木、松田、吉岡 欠席：大塚、瀬川

[承認事項]

1. 2008年度第7回理事会議事録案

- ・前回（2008年度第7回）理事会議事録を承認。

2. 新入会員の承認

- ・新入会員（8名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

3. 法人会員（日本映像記録センター）の退会

- ・日本映像記録センター（賛助会員）の退会を承認。

4. 日本学術会議公開講演会の後援

- ・日本学術会議公開講演会「グローバル化する世界における多文化主義：日本からの視点」（2009年6月13日開催）の後援を総務会にて承認したことを報告の上で事後承認。

5. その他

- ・学会歴史委員長の山本会長より、綾部真雄氏の委員への追加が提案され、承認された。

[報告事項]

1. 会長報告

- ・一般社団法人社会調査協会より、文化人類学会の協会加盟について話し合いを行いたいとの打診があり、5月2日に本学会より文化人類学教育特別委員会の鏡味理事、森山委員と、山本会長、葛野理事が出席し、会合を持つ予定であることを報告。
- ・4月13日に開催された日本学術会議の人類学分科会にて、中央教育審議会答申が取り上げられたことを報告。答申では、学士課程教育に関する具体的な改善方策として、「各専攻分野を通じて培う学士力～学士課程共通の学習成果に関する参考指針～」と題し、(1) 他文化・異文化に関する知識の理解、(2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解、が挙げられており、これは人類学が当初より目指してきたことと重なるため、今後学会として何らかの対応をすべきであろうとの認識が示された。

2. 庶務理事報告

- ・故・比嘉政夫会員遺族へ弔電を送ったことを報告。
- ・名誉会員へ研究大会招待状を学会長・研究大会準備委員長の連名で送付したことを報告。
- ・第4回日本文化人類学会賞学会賞・奨励賞について、受賞者への通知、JASCA-INFOによる

配信及び学会ホームページでの告知を行なったことを報告。学会ホームページにおける授賞理由の公開に関し、公開時期については授賞式後にすべきとの意見が出され、次期理事会に検討課題として申し送ることとした。

- ・文化人類学事典初版第2刷に誤植があり、総務会並びに事典編集委員会が丸善出版と協議した結果、丸善出版が各方面へ謝罪するとともに、未出荷分については訂正シールを貼付して対処したことを報告。

### 3. 会計理事報告

- ・平成21年度文部科学省科学研究費補助金（研究成果公開促進費）及び（研究成果公开发表（B））の交付内定通知があったことを報告。

### 4. 総務理事報告

- ・人類学関連学会協議会合同シンポジウム（2009年5月29日開催）について、共催の国立民族学博物館が広報用のチラシを作成したことを報告。

### 5. 広報理事報告

- ・科学技術振興機構（JST）の委託を受けた三菱総合研究所より「国内学会誌・広報誌における著作権取り扱い調査及び著作権規定の方向性の検討」に関わるインタビュー調査を受けたことを報告。
- ・学会ロゴマークを制定する必要がある、その公募方法について次回理事会に諮る予定であることを報告。

### 6. 各種委員会報告

- ・民博連携委員会：学会事務局に保管されていた民族学者・人類学者のインタビュー映像記録テープを国立民族学博物館に預託し、今後整理・編集作業を進める予定であることを報告。
- ・情報化委員会：平成21年度文部科学省科学研究費補助金（研究成果公开发表（B））の交付内定通知があったことを報告。また、学会ホームページの「文化人類学・民族学」に関する質問コーナーへの質問が増加しているため、担当委員を増やす可能性があることを報告。
- ・部会制導入検討委員会：各学会の関連情報を収集中であり、今後は情報を整理し、さらに検討を進めた上で素案を作成し、理事会に提案する予定であることを報告。
- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会所有のデータを公開可能なものから公開していく方針であり、公開の方法については神奈川大学と話し合いを進めていることを報告。
- ・研究大会運営検討委員会：配付資料に基づき「研究大会に関する提案（素案）」の説明があり、査読項目等について意見交換を行った。
- ・倫理規定検討委員会：日本文化人類学会倫理綱領の英訳を進める予定であることを報告。
- ・『文化人類学事典』編集委員会：『文化人類学事典』の販売好調理由を丸善株式会社に照会し、その結果を報告。

### 7. 第43回研究大会の準備状況について

- ・佐々木理事：5月初旬に研究大会プログラムを公開予定であることを報告。

#### [審議事項]

#### 1. 『文化人類学事典』（丸善株式会社）出版契約書

- ・原稿料（印税）の支払い遅延理由の説明書を総務会で検討の上で作成し、丸善のメーリングリストを通して各編集者・執筆者へ配信したことが報告され、遅延通知の送付を丸善出版に依頼することが確認された。
  - ・原稿料（印税）の配分割合について検討を行い、その検討結果に基づき丸善出版との間で取り交わす出版契約書の内容を決定した。
2. 2008年度事業報告・決算報告、2009年度事業計画・予算計画原案
- ・上杉理事より、2008年度事業報告・2009年度事業計画（案）について資料に基づき説明があり、修正があれば上杉理事が事務局へ連絡することとした。
  - ・葛野理事より、2008年度決算・2009年度予算案について資料に基づき説明があった。桑山理事より、2009年度予算の *JRCA* 刊行費に関して、学会賞受賞論文の英訳費用を予算に組み込むことが提案され、次回理事会で検討を継続することとした。これに関連して、*JRCA* への投稿呼びかけを JASCA-INFO で配信すること、今後理事会において長期的な課題として *JRCA* の位置づけについて検討を加えることが承認された。
3. 名誉会員の推薦
- ・日本文化人類学会名誉会員内規の第2条1項に基づく名誉会員候補資格者2名を名誉会員候補者として評議員会に推薦することが承認された。また、第2条2項に基づく名誉会員候補者の推薦があれば事務局へ連絡することとした。
4. 学会賞選考委員の委嘱
- ・今年度の学会賞選考委員について、昨年度の選考委員全員の再任を承認した。
  - ・選考委員の任期を2年とすることが提案され、承認された。この決定に基づき、次回理事会で日本文化人類学会賞選考規則の改正案を審議することとした。

以上